

パークホームズセンター北ブランプレミアの 資産価値と生活品質を向上させる環境整備計画

理事会向け資料（NURO光とNTT光の比較）

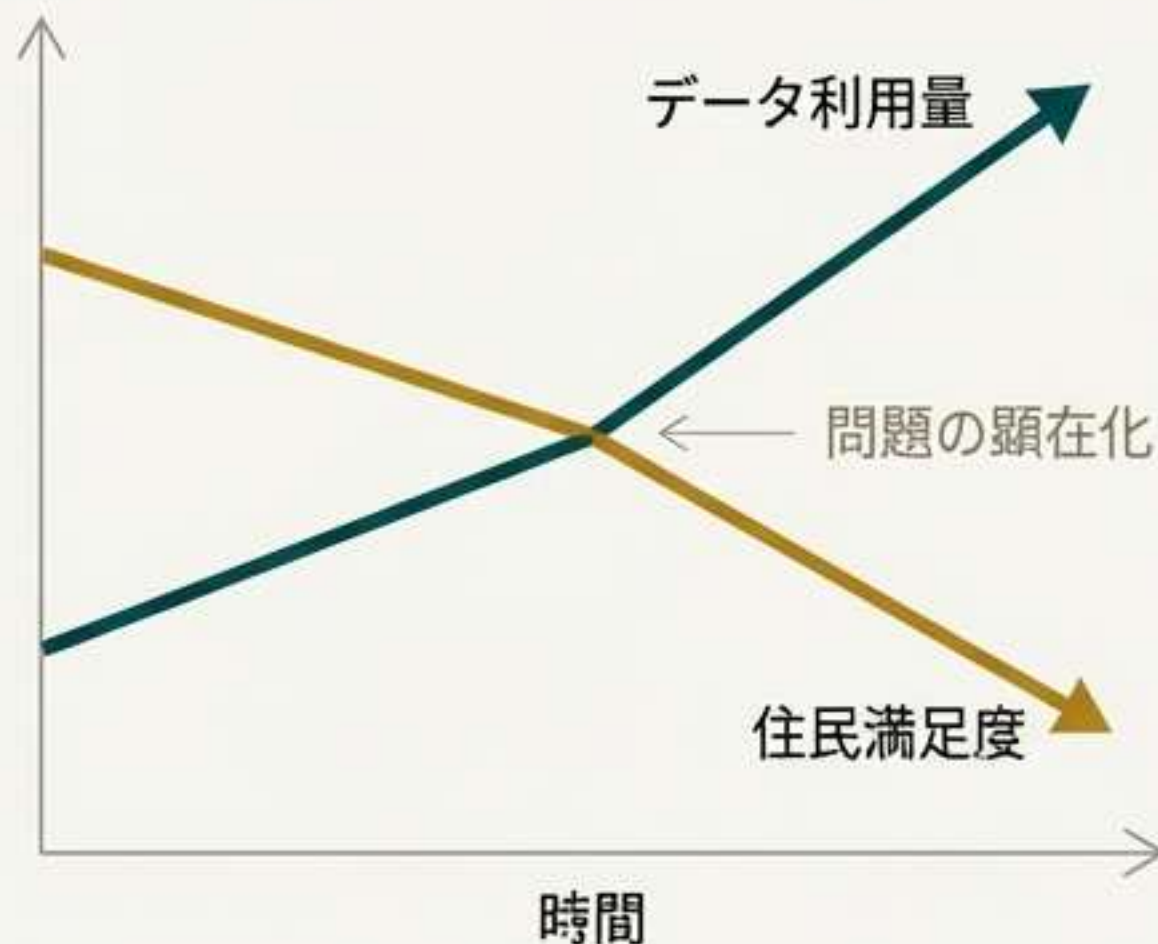
現行インターネット環境は、現代のライフスタイルの要求水準を満たしていません

背景

現在の設備はNTT VDSL方式（最大100Mbps）とKDDI LAN方式が混在。

将来性の欠如

既存方式では、将来の標準となる10Gbps級サービスへの対応が不可能。



顕在化している問題

利用者集中時（特に夜間）に速度が大幅に低下し、テレワーク、動画配信、オンライン学習に支障をきたしています。

住民からの要望増加

理事会には「高速で安定した光回線」を求める声が多数寄せられています。

“

「夜になると会議が途切れる」

”

“

「動画が頻繁に止まる」

”

私たちが直面しているのは、「究極の性能」か「導入の確実性」という戦略的な選択です

KDDIが新規工事不可の方針であるため、現実的な選択肢は以下の2つに絞られます。それぞれの選択肢は、異なる価値を提供します。

NURO光

Option 1: The 'Ultimate Performance & Value' Choice



特徴

圧倒的な速度と将来性、そして優れたコストパフォーマンス。



考慮点

導入には建物の対応可否確認と、管理組合の工事承認が必要。

性能

価値

未来

NTT光

Option 2: The 'Implementation Simplicity & Certainty' Choice



特徴

既存設備を活用できるため導入が容易で、サポート体制も充実。



考慮点

性能と月額費用ではNURO光に劣ります。

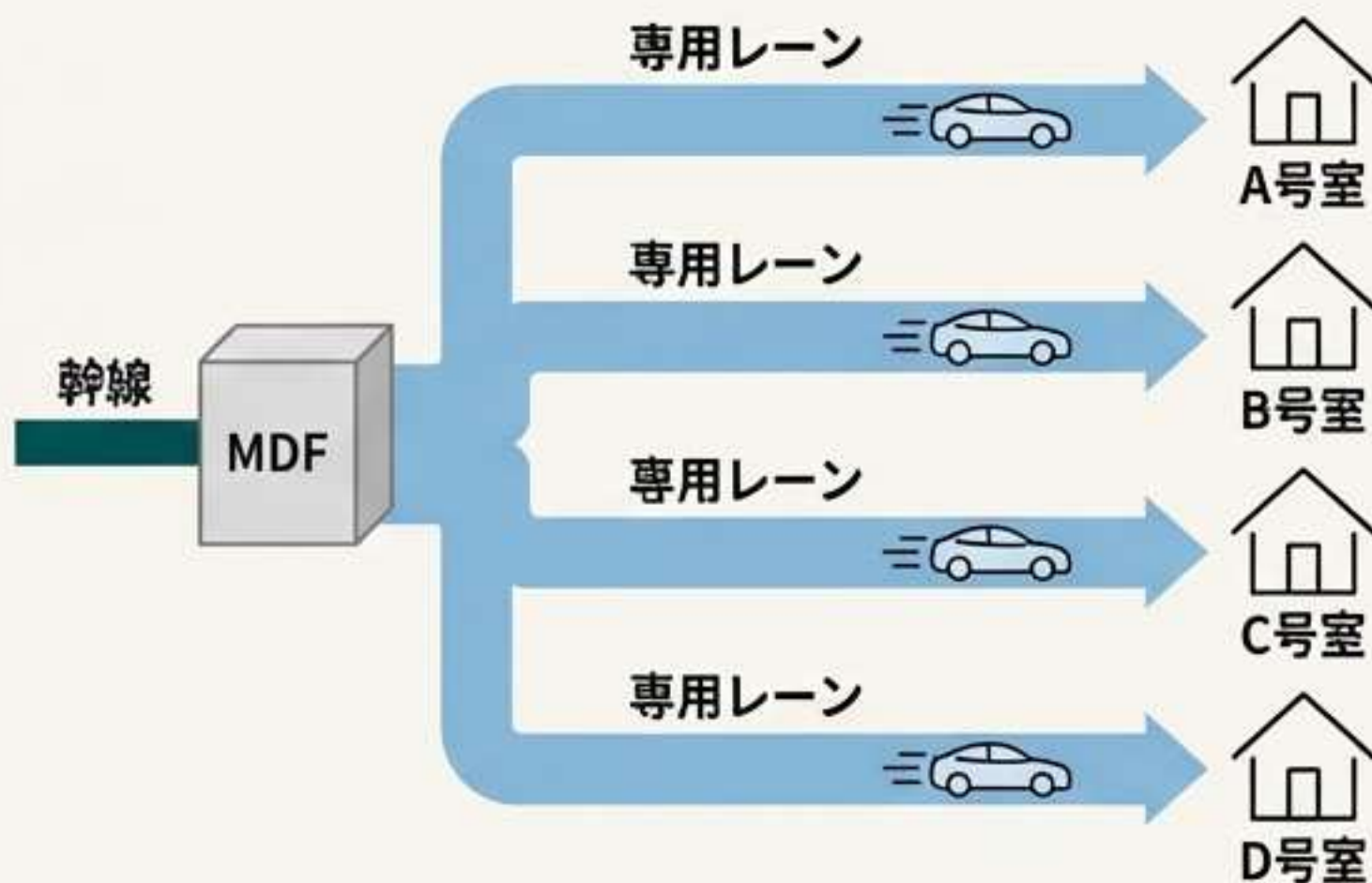
確実性

容易さ

安心

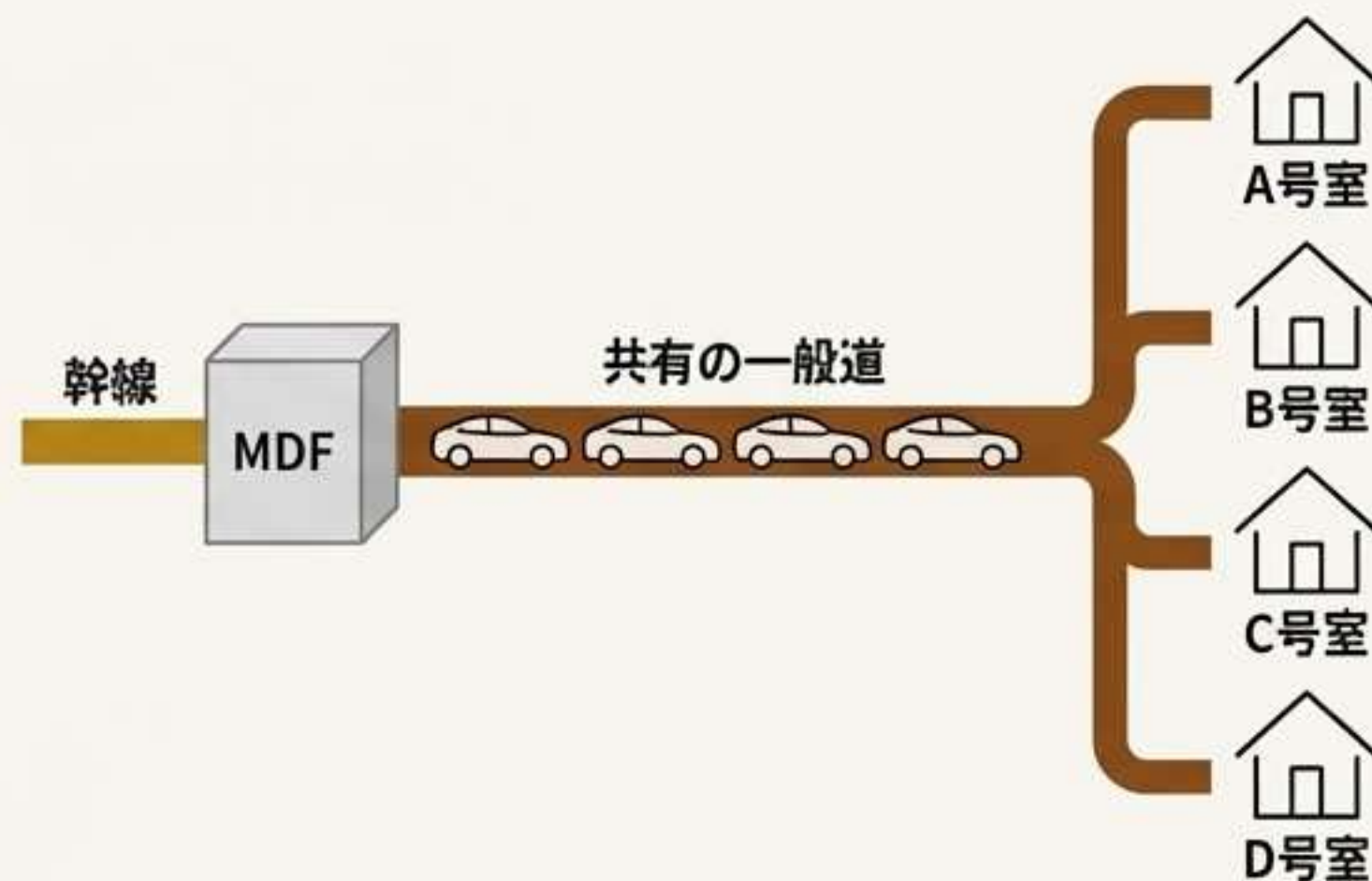
NURO光が高速な理由：「各戸専用のハイウェイ」という通信方式の違いにあります

NURO光: 各戸に確保された「専用レーン」



各戸に専用の通信経路が確保されるため、
他者の利用状況に影響されにくい。

NTT光: マンション内の「共有の一般道」



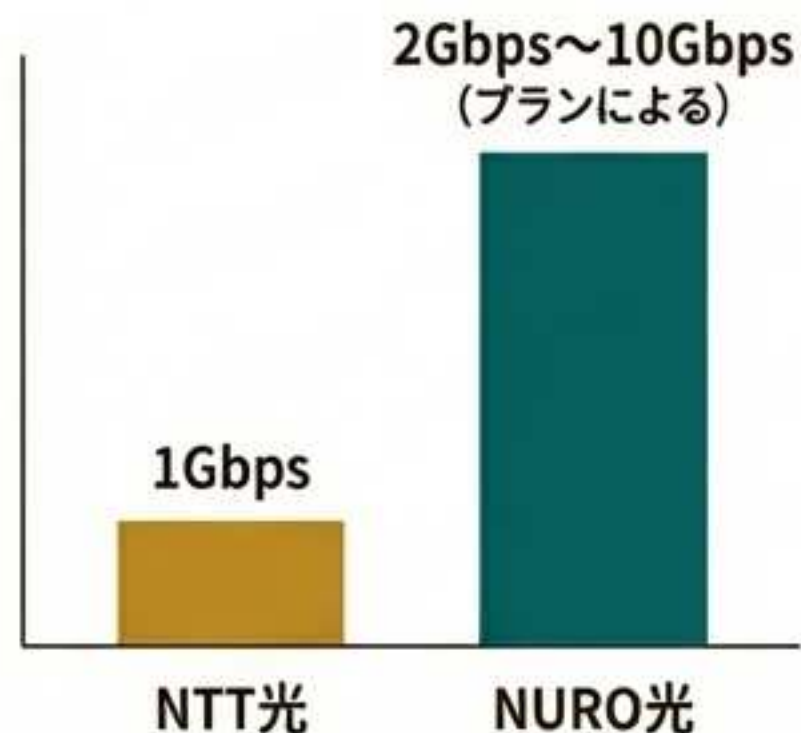
マンション内で1つの経路を共有するため、
利用集中時に混雑しやすい。

※本図は通信品質の差を説明するための論理的なイメージ図であり、実際の物理的な配線とは異なります。

実際の利用データでも、NURO光は速度と応答性でNTT光を大きく上回ります

実測値データは、オンライン会議、高画質動画ストリーミングなど、応答速度が重要となる利用シーンでの快適性の差を明確に示しています。

最大速度



実効速度 (平均)



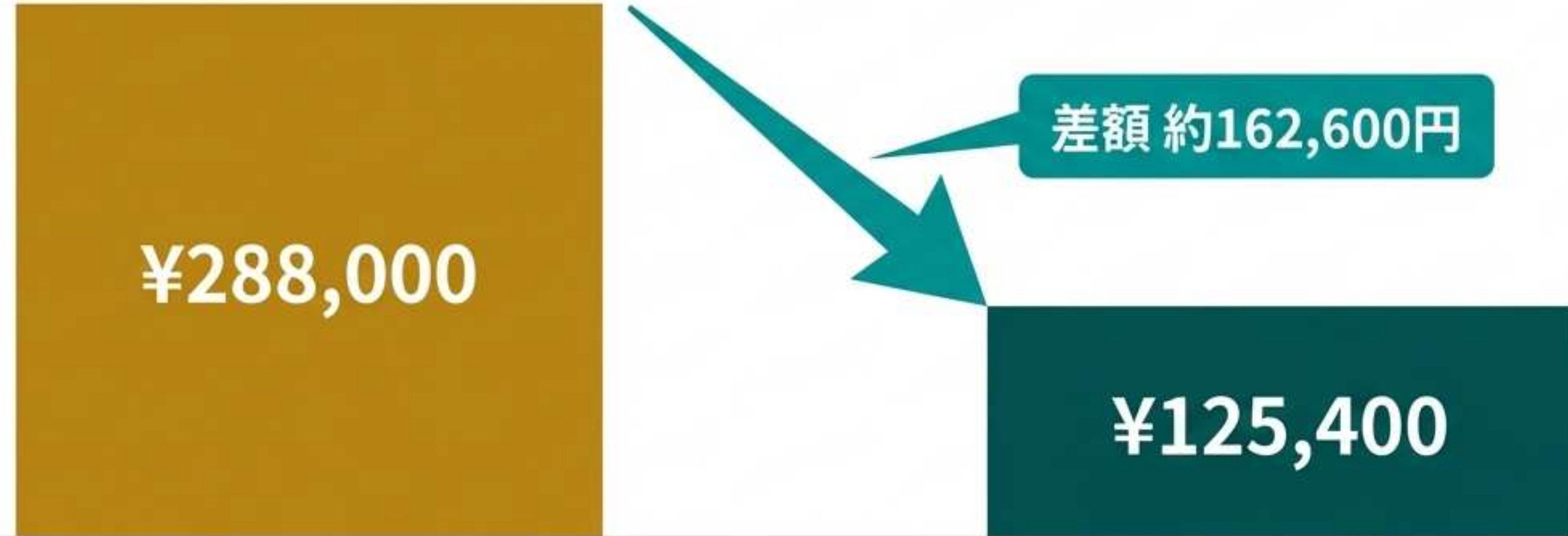
遅延 (Ping値)



NURO光は5年間で一戸あたり約16万円のコスト優位性があります

キャンペーン適用を前提とすると、NURO光は優れた性能をより低いコストで提供します。これは住民の経済的負担を直接軽減する大きなメリットです。

1世帯あたり5年間の総コスト比較



NTT光

(内訳：月額 ¥4,500 x 60ヶ月 + 初期工事費 ¥18,000)

NURO光

(内訳：月額 ¥2,090 x 60ヶ月 + 初期工事費 ¥0 (キャンペーン適用))

※上記は一般的な料金プランに基づく試算です。正式な金額は見積取得後にご提示します。

総合的なメリット・デメリットの比較

各選択肢には、技術、費用、導入、運用の各側面で明確な長所と短所が存在します。

| | NURO光 | NTT光 |
|-----|------------------------------|---------------------------|
| 技術面 | ✓ 最大2～10Gbps、独自回線で混雑に強い | ✓ VDSLから大幅改善、既存設備を活用可能 |
| | — 建物対応条件、専用工事が必須 | — 最大1Gbps、マンション内で回線共有 |
| 費用面 | ✓ 月額料金が安い(¥2,090~)、工事費無料CPあり | ✓ プロバイダ選択が自由 |
| | — プロバイダ選択肢が限定的 | — 月額料金が高め(¥4,500前後)、初期工事費 |
| 導入面 | ✓ 導入できれば最高の環境を実現 | ✓ 導入が容易で合意形成しやすい |
| | — 管理組合承認など導入ハードルが高い | — VDSLからの切替には共用部工事が必要 |
| 運用面 | ✓ 動画・ゲーム・テレワークに最適 | ✓ サポート網が広くトラブル対応しやすい |
| | — サポート窓口が限定的 | — プロバイダにより品質に差が出る |

性能、将来性、コストの三拍子で、NURO光が本マンションにとって最適な選択肢です
総合的な評価に基づき、以下のアプローチを提案します。



**第一候補として提案 (Primary Proposal):
NURO光**

アクション (Action)

NURO光導入の実現可能性を最優先で調査する。

理由 (Reason)

住民満足度の最大化と、長期的なコスト削減効果が最も大きい。



**代替案 (Alternative Plan):
NTT光**

アクション (Action)

NURO光の導入が物理的・規約的に困難と判明した場合、NTT光(光配線方式)へ切り替える。

理由 (Reason)

現状からの確実な改善と、導入の容易さを確保できる。

結論：NURO光を第一候補とし、住民満足度とコスト競争力の両立を目指します

現状の課題（Current Issues）

現行のインターネット(VDSL/LAN方式)は、在宅勤務や動画配信の需要に追いつかず、速度低下が住民の不満要因となっています。

推奨する解決策（Recommended Solution）

性能と費用対効果で圧倒的に優れる「NURO光」の導入を第一候補として提案します。導入が物理的に困難な場合は、次善策として「NTT光(光配線方式)」を選択します。



圧倒的な速度

最大2Gbps～10Gbpsの通信環境を実現。



大幅なコスト削減

5年間で1世帯あたり約16万円の費用を削減可能。



資産価値の向上

将来のニーズに対応できるインフラを整備。